

は じ め に

昨年は昭和 53 年以来、17 年ぶりの大渇水に見舞われ、このため市民の井戸水の利用が急増し、当所における井戸水の水質検査の件数も、平年の 2 倍の 13,000 件に達しました。関係所員の努力により、迅速に検査を行った結果、市民も安心して井戸水を使用することができました。

福岡市は、「第 18 回ユニバーシアード大会 1995 福岡」の開催のため、ここ数年来、準備を進めておりましたが、本年 8 月 23 日から 9 月 3 日までの 12 日間にわたり、ユニバーシアード大会史上、最大規模の世界 162 カ国・地域から 5,740 人の選手・役員の参加を得て、熱戦を繰りひろげ、盛会のうちに幕を閉じました。本大会の運営について、当所の所員も様々な形態で支援してまいりました。

さて、当所は平成 9 年度に「福岡市保健環境研究所（仮称）」として新たに出発する計画で、現在、福岡ドームの横に、5 階建の「新研究所」を建設中であり、工事は順調に進んでおります。

分析機器類の整備については、関係当局のご理解によりまして、新鋭機器を導入して、技術水準の向上、業務の高度化、効率化等に取り組み、検査体制の段階的整備を図っております。

「新研究所」の拡充整備計画の重要な課題の一つである、科学技術情報の収集・解析・提供・発信機能の強化を推進するために、平成 7 年度予算に「福岡市保健環境情報システム」推進計画費が計上されると共に、情報・展示担当主査 1 名が増員されました。現在、「情報システム」のシステム設計を策定中であり、平成 8 年度にプログラム開発・試行、平成 9 年度に運用開始という年次計画で進めているところです。

当所では、アジアの交流拠点都市にふさわしく、海外研修生の受入れ及び専門技術職員の派遣など国際的な技術協力を進めてまいりましたが、平成 6 年度は J I C A から依頼されて、インドネシアから 3 名（1～4 カ月間）の研修生を受け入れ、環境・生物試料の有害物質分析法、環境細菌検査法等の研修を実施しました。

このような新たな時代を迎える動きの中で、保健衛生・環境保全の諸問題に率先して取り組み、福岡市の保健・環境等の行政推進の科学的、技術的中核を果たす試験研究機関として、今後とも重要な役割を果たしていくため、所員一同なお一層努力する所存でございます。

ここに平成 6 年度に所員の努力と熱意で実施した業務の概要と調査研究の成果を取りまとめ、所報第 20 号としてお届けいたします。ご高覧のうえ、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 7 年 9 月

福岡市衛生試験所長

佐 藤 泰 敏